

2018年8月6日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 緩和ケアチームに、がんで紹介歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学神経精神医学教室では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

がん患者における認知機能についての後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室 教授 鵜飼 聡

3. 研究の目的

認知機能の低下は、治療方針の決定や治療意欲の維持、意義のある生活を選択する上で、大きな支障を及ぼすと考えます。本研究は、がん患者さんの認知機能を評価し、認知機能の低下に関連する要因を分析し、認知機能の低下が、がん治療や生活の質(QOL)の低下に及ぼす影響、並びに認知症の悪化やせん妄の発症に及ぼす影響を明らかにするものです。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

がん患者さんで、2015年4月1日から2021年6月30日までの期間中に当院緩和ケアチームに紹介され認知機能検査を受けられた方です。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、電子カルテの診療情報、検査所見、画像所見に関する情報です。

(3) 方法

本研究では、過去の通常診療で得られた臨床情報・診療情報を診療録より入手・収集します。そして、各項目の関連性を統計学的手法により解析します。本研究で利用する情報は過去の通常診療で得られた項目のみであり、本試験に伴って新たに生じる身体への危険や不利益はありません。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用さ

れることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに論文発表や学会発表で公表されたデータとなっている場合には撤回はできません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室 担当医師 大沢 恭子

TEL : 073-441-0659 FAX : 073-444-8001

E-mail : osawa@wakayama-med. ac. jp